

地域安全トピックス



大淀

大淀防犯協会は、大淀ビル防犯協力会と共に「安全で安心なまち大淀」を合い言葉に、さまざまな防犯啓発活動を実施していますが、今年は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、各種活動の抑制を余技なくされています。そんな中、全国地域安全運動が始まり、大淀警察署において、防犯功労者表彰伝達式が行われました。その後、当協会は、関係機関と共に特殊詐欺撲滅グッズ等の啓発品を配布しての自主防犯を呼び掛けるなど、今できることを一つひとつ積み重ねています。

生野

生野防犯協会は、生野警察署、生野区役所、企業、各種団体等と協力し「安全で安心して暮らせるまち生野」を目指して、さまざまな防犯活動を実施しています。

地域安全運動期間中は、コロナ感染症対策を講じながら、創意工夫して防犯活動に取り組み、車両による特殊詐欺被害防止広報や、防犯啓発品等を配布して防犯意識の高揚に努めました。

引き続き「コロナに負けず」に防犯活動を継続していきます。



淀川

淀川防犯協会は、昭和22年発足、街頭犯罪を減少させる施策として平成21年に「青色防犯パトロール部会」「放置自転車対策部会」「防犯カメラ部会」の三部会で構成された、『YCPA(淀川防犯協会) 街頭犯罪抑止隊』を結成しました。青パト部会については、当初から、区内の18地区防犯会、及び青年部が、ローテーションで年始を除き毎日運行しており、認知度も上がっています。また、青パトの活動実績が認められ、この度、淀川区役所が大遊協様から寄贈を受けた新車の青パトを、当協会に貸与して下さることとなりました。9月16日には、淀川区役所にて、青パト貸与式を実施しました。

これからも、日々活動を絶やさず、安全運転を心掛け、淀川区内の安全安心のため、走り続けたいと思っております。



八尾

八尾防犯協議会では、警察、自治体・各種団体・地域住民と協働した官民一体による犯罪被害防止活動に取り組んでいます。今回紹介させていただくのは、犯罪の早期解決や未然防止に極めて有効な防犯カメラの増設についてです。

今年度、八尾市にふるさと納税制度を活用した防犯カメラに特化する基金が新設され、これまで団体・個人合わせて約4,500万円の寄附が集まりました。これを受け、今年度約300台のWI-FI型防犯カメラが増設され、合計1,000台の運用が、間もなく開始されます。

今後も各種活動を通じ、「安全・安心で住み続けたいまち八尾」を目指した防犯活動に努めて参ります。



北堺

北堺防犯協議会は、昨年創立40周年の節目を迎えましたが、「安全で安心して暮らせるまち北区」の実現に向け、地域防犯部・職域防犯部と北堺警察署・北区役所が連携し、さまざまな防犯活動を積極的に実施しています。

地域安全運動の際は、地域防犯各支部においてひたたくりや特殊詐欺被害の防止キャンペーンを実施する他、レディースサポーターによる女性・子ども被害防止キャンペーンや自転車組合による自転車鍵の無料取付キャンペーンを定期的に実施して区民の防犯意識の高揚に努めています。

